

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成 28年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月 31日
3. 業務の範囲	(1)旭ヶ丘公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)旭ヶ丘公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P102.103(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:48.1%(平均値比117.6% =48.1%÷40.9%) 中会議室:30.0%(平均値比130.4% =30.0%÷23.0%) 小会議室:35.9%(平均値比144.2% =35.9%÷24.9%) 研修室:23.8%(平均値比122.1% =23.8%÷19.5%) 和室(A):19.2%(平均値比111.0% =19.2%÷17.3%) 和室(B):24.6%(平均値比139.0% =24.6%÷17.7%) 料理実習室:13.1%(平均値比159.8% =13.1%÷8.2%)	5点		
				平均値比(128%)=利用率(32.5%)÷25.3%(上記(2)適用)						
		②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P102.103(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:25,097人(平均値比108.7% =25,097人÷23,082人) 中会議室:4,872人(平均値比127.0% =4,872人÷3,835人) 小会議室:3,980人(平均値比130.8% =3,980人÷3,042人) 研修室:2,873人(平均値比132.8% =2,873人÷2,164人) 和室(A):2,795人(平均値比105.8% =2,795人÷2,642人) 和室(B):3,439人(平均値比125.3% =3,439人÷2,744人) 料理実習室:954人(平均値比133.8% =954人÷713人)	5点		
				平均値比(115%)=利用人数(延べ44,010人)÷38,222人(上記(2)適用)						
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P105～112(文化事業一覧) ①公民館まつり ・ふれあいまつり 473人 ・趣味の作品展 407人 ②地域意識醸成事業 ・夏休み親子工作教室(19組 51人・北栄校区青少年まちづくり市民会議との共催) ・健康サロン ラジオ体操で楽しいひとときを 379回 8,781人 ・ウォーキング事業 みんなで外に出かけよう♪ 高根山ほか 7回 95人	仕様書以上 14点	・ふれあいまつりでは、飛び入り参加もありのフラダンスなどを行い、多くの方が一体となって事業を展開した。 ・夏休み親子工作教室は、青少年まちづくり市民会議との共催で、親子のコミュニケーションを深めることができた。 ・毎日のラジオ体操は、地域の定番事業で、参加者同士の交流も広がった。 ・ウォーキング事業は、地域の良さを再発見できる事業であり、実施回数も増やしたことにより、多くの参加者を得ることができた。	14点		
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P105～112(文化事業一覧) ・子どもの居場所づくり「寺子屋」205回 1,202人 ボランティア講師による百人一首、宿題やろう! など ・男性の仲間づくりの場 庭木の手入れ 秋 早春 3回 28人 、おやじの料理 9回 120人 ・子育てママと多世代交流 「おひるねアート」、「おやこでリズム体操♪」 ・健康づくり事業 インボディチェック 2回 78人、らくらく筋力アップ体操 10回 251人 ・はじめての終活講座 71人	期待以上 14点	・子どもの居場所づくりを担っている「寺子屋」事業は、地域の方がボランティアで講師を務めたり、かつて寺子屋に参加していた子どもがボランティアとして参加するなど、地域の協力を得て、実施されている。 ・男性の仲間づくりの場は、公民館の利用が少ない男性にスポットをあて、よりよい活動を進めている。 ・様々なところにアンテナを立てて、「終活」についての講座を取り入れるなど、先を見通す事業を行っている。	14点		
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃 ②保守・点検 ③保安・警備 ④小規模修繕 ⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P114(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
				年次報告書P114(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回) ・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回) ・・・年4回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
				機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
				年次報告書P114、115(有償修理の内訳) 有料修繕 全20件 総額 1,552,121円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
				・一日のうちに定期的に施設全体に異常がないか確認。 ・「多治見市公共施設点検マニュアル」の活用による点検。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・ファイリングシステムによる文書管理で、必要な文書を全職員が素早く正確に出せるようにしている。 ・多治見市への伺い文書、完了報告書など提出文書を迅速に適正に作成、管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			・敷地内の樹木や植え込みは年一回、業者による剪定。 ・敷地周囲の市道側溝のこまめな清掃や泥の撤去と保育園との境界の草刈り。 ・協定に基づく年一回の特別清掃を年二回に増やし、建物内外を清潔にしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・車いすやベビーカーの方が来館された場合は、そのまま入館いただき、後から廊下等を清掃。 ・廊下突き当りの扉の開閉が子どもや高齢者でも楽になるよう、扉に取っ手を付けました。 ・正面玄関、ホール前スロープには障害物を置かないよう配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・利用者の安全面、利便性を最優先し、問題がある場合は、買替または廃棄しました。買替えた備品は「備品シール」を貼り、備品台帳と照合し適正に管理した。適正な備品を揃えることで公民館利用の向上につながるよう配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・定期的な館内会議で「個人情報保護法」について確認し、個人情報保護の意識を常に高く持つよう心掛け、机上、PC上、FAX送信等には細心の注意している。 ・各同好会への問い合わせの場合は「利用団体シート」の個人情報公開欄を確認し適正に対応しているが、基本、見学をご案内し、個人情報保護に注意している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・大ホールで転倒骨折事故発生。 →職員が保冷剤で患部を冷やすと同時に救急車を呼び、県立多治見病院へ搬送、手術を行う。その後、速やかに公民館総合保険を申請し保険適用を受けていただいた。	事故なし・対応に不備なし 0点	迅速かつ適切な対応を行った。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入19,304,540円÷支出19,785,984円＝98%	100%未満 3点	収支としては若干のマイナスとなっているものの、適正に経営されている。	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	①ニーズの把握・事業への反映 →おしゃべりのできない赤ちゃんと手を使って、気持ちを伝えることができる新しい育児方法「ベビーサイン」をパパもママと一緒に学ぶ講座や「おひるねアート」による写真撮影会を実施。 ・幼児がいるがフラダンスを楽しみたい →運動チャレンジ講座 夏休み 親子でフラダンス(5回講座)を多治見市保健センターの受託事業として開催。 ・社会的に大きな関心を呼んでいる「終活」について具体的に学びたい →わかりやすいはじめての終活講演会を終活業務を専門とする行政書士を講師に招いて、相続や遺言など具体的な内容を実際のケースをもとにエンディングノートに沿って説明を受けました。令和元年度は「もっと詳しい終活講座」を開催予定。 ・みんなで歌おう うたごえサロン ・合唱はできないけど、よく知っている曲をみんなで歌ってみたい →「うたごえサロン」で、地元で活躍するバンドを迎え、会場の参加者からのリクエスト曲を生演奏でみんなでハツラツと歌った。次回の開催要望も多いことから令和元年度も開催予定。 ・体力づくり、体幹を鍛えたい →準備体操を兼ねた入念なストレッチとボールを使った遊び感覚のバランスボール講座を実施し、若い世代や男性など幅広い参加者があり、同好会に発展した。 ・食から健康を学びたい →最近、若い女性から高齢者まで幅広い世代から注目されている栄養素“葉酸”を手軽に効果的に摂るレシピを学ぶ料理講座を開催し、体に優しい、美味しい、簡単に作ることができる時短調理の技も学び、付加価値の高い講座となった。 ◇世代を超えた広いニーズに応じて～地域をつなぐ事業 ・参加型コンサートを実施してほしい →クリスマスコンサートとして、「ミュージックベル、トーンチャイム」演奏を実施し、演奏を聴くだけでなく、全員が楽器を手に参加できるコンサートとして、幼児から高齢者まで大好評であった。	期待以上 8点	各要望に対し、迅速に対応している。 ・健康志向ニーズに合わせ、バランスボールの講座を実施した。 ・防災についての、防災倉庫の備品を実際に使うなど、実践的な講座を実施した。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・屋外トイレ(洋式内)にタバコの吸い殻が多くある。 →敷地内禁煙のポスターを増やした。 ・花のプランターにタバコの吸い殻が埋めてある。 →こまめに掃除した。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対しても、丁寧に應對し、迅速かつ適切に対応している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・変化の大きい時代に合ったニーズを捉え実現することで、一人でも多くの市民に楽しく気持ちよく利用いただき、高い満足感を持っていただけるよう取り組んだ。 ニーズをつかむには、利用者との日頃のコミュニケーションを深め、また、「アンケート」等で把握したニーズを的確に迅速にカタチにして信頼を得ることが大切で、職員全員がこの意識をしっかりと持ち、事業や施設管理に取り組んだ。 ・大型団地の中にあり、多世代にわたり利用の多い昭和53年開館の施設が、いつまでも安全、快適、衛生的かつ居心地の良い空間であるよう、毎日の安全点検と定期的な予防修繕を行う。また、今後ますます利用者の高齢化が進む中、「事故のない安全な施設運営」について意識を高く持ち、日々安全管理に努める。 ・すべての来館者に気持ちよく利用し、帰っていただけるよう、笑顔の窓口対応を大切にします。窓口同様、電話対応も笑顔を忘れず、誠実に正確に対応するよう心掛けています。職員の「人の力、コミュニケーション力」を向上させるよう努める。	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施の提案がされている。 ・利用者との日頃のコミュニケーションを深め、また、「アンケート」等で把握したニーズを的確に迅速にカタチにして信頼を得ることが大切であることを職員全員が意識し、事業や施設管理に取り組んでいる。 ・すべての来館者に気持ちよく利用し、帰っていただけるよう、笑顔の窓口対応や電話対応も笑顔を忘れず、誠実に正確に対応するよう、職員の「人間力、コミュニケーション能力」を向上させるよう努めている。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	適正に実施されている	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点	

合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			合計87点
				全体的な評価 ・「寺子屋」事業は地域のボランティアの協力のもと、子どもの居場所づくりに貢献している。 ・話題になっていることを、事業に反映し、利用者ニーズに合った運営ができてい る。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	極めて良好